

|                                                                                |                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 豊かな狛江をつくる市民の会通信                                                                | 豊かな狛江をつくる市民の会                                                                          |
| <div data-bbox="111 243 673 369" data-label="Text"> <p><b>豊かな狛江</b></p> </div> | (仮) 狛江市東和泉 2-20-12-103<br>みんなの広場<br>連絡先：080-5084-1821 (前土肥)<br>郵便振替口座番号 00140-3-727253 |

第 244 号 (2020 年 11 月号) / 2020 年 11 月 1 日発行

## 東京 22 区に野党統一候補を！

### 市民連合「ちょこみな」第 7 回トークライブ

政権交代へ願い込めて立憲民主党・日本共産党・

れいわ新選組・社民党が幟を掲げ

10月4日(日)午後、調布駅前で「街頭リレートーク」を開催しました。

前回の総選挙前に同じ場所で行なった市民集会を契機に旗揚げしてから3年、決起集会や学習・講演会、6回にわたる「トークライブ」を模索してきた集大成として開催したものです。

「戦争法なくしたいオール三鷹の会」の蟻坂静夫さんが開会あいさつし。「『ちょこみな』の3年間の歩みと、中央の『市民連合』が各野党に示している要望書を踏まえて、こんどの衆院選では野党統一候補を勝たせて政権交代を！」と語りました。

### 市民3人がスピーチ 「統一すれば勝利できる！」と積年の思いを口々に

「戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会」の岡村誠さんは、年金削減を許さない裁判闘争を紹介しながら自公政権の福祉破壊を批判。戦争法が強行されてから、賛成した政党の議席を減らそうと頑張ってきたが、選挙で勝つためには政策・候補者・運動の3点で共闘することが欠かせないとはっきりした。統一は譲るべきことは譲って運動を続けることが大事だ。候補者を一本化する中で譲った

方を比例名簿でカバーするなど考えて行けないか。野党が統一すれば市民は考えられない力を発揮する。

「安保法制に反対するママの会@調布」の蔵貫隆子さんは、あるシングルマザーの痛切な声を紹介し、「自助・共助・公助」を言う菅さんにこういう方々や子供たちの生存を託せるかと問いかけ、私たちはコロナ禍の前から「自助」も「共助」も精一杯やっている、求めているのは「公助」だと訴えました。政治を私物化し、「女はウソをつきますから」と性被害に遭った方々を冷笑する自民党に、きっちりけりをつけたい。けりをつけるためには、総選挙で1票という権利を思いっきり使いましょう。

東京土建調布支部執行委員長の佐藤真理子さんは、コロナ不況の下での建設労働者や非正規雇用の苦しみを紹介し、いま野党の態勢が一新され、自助と自己責任を求める新自由主義か、それとも支えあいの社会かという、政権与党との対立軸を鮮明にしていることに期待している。22区で野党共闘候補を早く一本化して、決まったら市民のみなさん、比例は自分のご意志で、統一候補は心ひとつに、ともに頑張ろう。

## 野党代表は 50 音順に 3 人が市民の願いにこたえる熱いスピーチ

最初は、れいわ新選組から東京 22 区に立候補を予定している櫛淵万里さん。ピースボートで 17 年、衆院議員 1 期などの経歴を自己紹介しながら、安倍政権は消費税を 2 回増税して暮らしを破壊した。消費税廃止を総選挙の争点にしなければならない。財源は国債を 26 兆円発行すれば大丈夫。消費力を高めれば経済は回る。志位さんと山本太郎は合意したし、立憲も言っている。シール投票でも 8 割が消費税を下げてほしいと言っている。野党がまとまって政権交代を。最後に、学術会議への人事干渉、日米軍事演習を許せない。

次は、日本共産党参院議員の山添拓さん。学術会議が推薦した 6 人を任命拒否、学問の自由を侵害した。説明させ撤回させよう。国会での論戦を逃げ続けている菅さんに論戦をもとめよう。医療・介護・保育を充実させ、働きやすい社会、8 時間働けば暮らせる社会をつくるために野党の力を合わせてきている。首班指名は「枝野幸男」と書いた。本気で政治を変える時だ。コロナの先にはより良い社会をつくろう。市民連合が提起している政策は、参院選での 13 項目からパワーアップし、消費税、核禁条約も含めて 15 項目。ご一緒に市民と野党の共闘を強め、スガスガしい時代を拓こう。

最後は、立憲民主党衆院議員の山花郁夫さん。安倍政権の改憲発議は国会内外で力を合わせて阻止できた。内閣は変わったが立憲主義じゅうりんは止まらない。学会会議への干渉では権力が委縮効果を狙ってオドシをかけているものだ。私は再び憲法審査会の筆頭幹事を仰せつかったのががんばりたい。中曽根康弘は名うての右翼政治家だったが、靖国参拝を国会に問い、委員会で賛否両論併記となったことで公式参拝を断念した。今の政権は、やると言ったらやる、不都合な者は外す。批判に耐えるような政治ではない。民主主義の力で応えていこう。この間みなさんと野党共闘の進化をつくってきた。違いを強調するより共通項を広げていく、これまでのとりくみが花開くように、力を合わせよう。

15時過ぎ、「政治を変えよう！いなぎ市民の会」の山岸太一さんが、「総選挙に向けたちょこみなアピール」3項目（次行）を提起し、会場は拍手でこれに賛意を示しました。

- ① 「市民連合の要望書」を踏まえ、自公政権に代わる新しい政権構想をつくりましょう。
- ② 政権構想の合意と政策協定による小選挙区野党候補の一本化を実現しましょう。
- ③ 22区で野党統一候補の小選挙区勝利で自民党の議席を減らして、政権交代を勝ち取りましょう。



# 市議会第 3 回定例会報告

日本共産党市議会議員 鈴木悦夫

第 3 回定例会は 8 月 31 日～10 月 8 日まで開かれました。

定例会では市長提案の補正予算や条例改正案、昨年度の決算、市民提出の陳情、日本共産党市議会団提出の補正予算組替え動議などが審議され、また各議員の一般質問が行われました。

10 月 8 日に可決された一般会計補正予算では国や都の交付金等活用して新型コロナ対策で「売上減 20%～50%程度で国や市の給付金等を受けられていない市内の中小業者に 10 万円を給付する事業」「唾液による P C R 検査を実施する医療機関 10 カ所に 30 万円を給付する事業」「インフルエンザワクチン接種に助成し高齢者は無料、障がい者は上限 5500 円まで助成、生後 6 ヶ月の幼児～小学 2 年生まで 1 回 3000 円、2 回まで助成する事業」「自分の演奏活動などの映像を提供した文化芸術活動を主生計とする個人に 5 万円を提供する事業」などがもりこまれています。

この補正予算の審議の中で自民党明政クが 4 月 28 日以降に生まれた新生児への支援として 10 万円を給付するよう求め市は検討すると答えました。補正予算にもりこまれた売り上げ減 50%未満の中小業者への 10 万円給付は、日本共産党市議会団が 6 月 3 日の新型コロナでの市長への緊急要望（第 3 次）以来、一貫して求めてきたもので、8 月 31 日に提案した補正予算組替え動議でも提案したものです（国立市、国分寺市、多摩市など 7 市が実施）。また自民党が提案した新生児への給付金もこの補正予算組替え動議で提案していたものです（新生児への支援は多摩市、福生市、清瀬市などで実施。党市議会団の提案は 4 月 28 日～来年 3 月までに生まれた新生児に 5 万円の給付するもの。この動議は自民、公明などの反対で否決、平井議員は賛成）。

一般質問や決算審議で焦点となったのは新型コロナ対策、水害対策、市民センター改修問題、財政問題などです。

新型コロナ対策で日本共産党は上記の他、国民健康保険税の軽減の拡大、ひとり親家庭への継続的支援、特養ホームやグループホームの職員等への P C R 検査をの実施をもとめ、市は P C R 検査の拡大について都の補正予算で検討されているのでそれを注視していると述べました。

水害対策では市民説明会で出された市民の意見をふまえ、市としての具体的対策を早急に確立し実行するよう求めました。市は今後検討すると述べましたが時期を明示しませんでした。

市民センター改修問題では、市が8月に決定した市民センター改修基本方針では、中央図書館の床面積があまり広がらず、市民の納得が得られていないことから、市長公約の大きな柱でもある参加と協働のまちづくりを大切にして、この基本方針にこだわらず、より充実した中央図書館、中央公民館になるよう、市民とよく話し合うよう求めました。



市はこの商工会館と駄倉地区センター（東和泉）を壊して中央図書館を移すと言うけれど…

財政問題では市が市民センター改修問題での説明会で、社会保障費の伸びが顕著で財政が厳しいということばかり強調していたことから、この10年間で、社会保障費の伸びなど、財政の厳しさあるものの、同じ10年間で借金残高は減少し（18億円減）、基金も増え（29億円）、市財政は大幅に改善してきていること（毎年の元金返済額も年間5億円減少）し、全国の類似団体69団体の中で、粕江市の財政力指数は3位であるなど全体として中位から上位にあることを明らかにしました。また特にいま超低金利というなか、臨時財政対策債を活用して市民の要望に応える施策を実施すべきと主張しました。



このほか、決算質疑の中で市側が、市役所の障がい者雇用が法定雇用率に対し6名不足していることや、市役所のハラスメント対策で条例見直しに向け全職員向けの無記名アンケートを検討すると答えたこと、新型コロナのもとで国民健康保険税の2年ごとの値上げ計画については国保運協の意見を聞くと述べたことなども報告しておきます。



# 平和といのちと人権を！

## 11・3 大行動

11月3日（火・祝）13：30～ 国会前行動

狛江駅 12：20 集合

久しぶりに一緒に参加しましょう。マスク着用忘れずに、体調に気をつけておいでください。

戦争なんてイヤだ！ 狛江市民実行委員会

**平和といのちと人権を！**  
**11・3 大行動**  
**憲法が生きるコロナ後の社会**

司会 古今亭菊千代さん（落語家）  
政党挨拶 立憲野党各党  
発言者  
コロナと格差 瀬戸大作さん（避難の協同センター・事務局長）  
コロナと差別 朝鮮大学校生  
コロナと憲法 清水雅彦さん（日本体育大学教授）  
コロナと医療 伊藤真美さん（花の谷クリニック院長）  
コロナと教育 佐野通夫さん（東京純心大学客員教授）  
コロナと女性 北原みのりさん（作家・活動家）  
コロナと沖縄 沖縄からのメッセージ（オール沖縄会議）

日時 2020年11月3日（火）  
13時30分開会  
場所 国会正門前付近

主催  
戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会  
連絡先  
1000人委員会 TEL 03-3526-2920  
9条壊すな！実行委員会 TEL 03-3221-4668  
憲法共同センター TEL 03-5842-5611

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、新自由主義による社会の矛盾が、様々な場面で浮かび上がっています。私たちは今、憲法の理念を基本に、「命の尊厳」が守られる新しい社会のあり方を求めていかなくてはなりません。コロナが私たちに知らしめた状況をしっかりと捉え、何を求めなくてはならないか、ポストコロナ社会を明らかにしたいと思っています。安倍政権を継承するとする菅政権、憲法改悪を阻止し、憲法の示す社会の実現を求めていきます。

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、新自由主義による社会の矛盾が、様々な場面で浮かび上がっています。私たちは今、憲法の理念を基本に、「命の尊厳」が守られる新しい社会のあり方を求めていかなくてはなりません。コロナが私たちに知らしめた状況をしっかりと捉え、何を求めなくてはならないか、ポストコロナ社会を明らかにしたいと思っています。安倍政権を継承するとする菅政権、憲法改悪を阻止し、憲法の示す社会の実現を求めていきます。



# 許せない日本学術会議会員任命拒否

増田善信(和泉本町在住)

私は元・学術会議会員、しかも公選制最後の12期の会員でした。公選制を廃止し、推薦制になった当時の中曽根首相は「学術会議が推薦した人をそのまま任命する」と言明し、日本学術会議法でも「会員は学術会議の推薦に基づき任命する」になっている。ところが驚いたことに、菅首相は「学術会議からの推薦名簿は見たことない。99名の任命名簿しか見ていない」という。自ら法律違反をしながら「総合的、俯瞰的観点で任命」などとうそぶく。許せないと思う。105名全員を任命することを要求する。

詳しくはブログ「なぜ学術会議会員は公選制から推薦制になったのか。公選制最後の会員の見解」をご覧ください。

<https://ameblo.jp/yshmasuda/>



## 「市民センター改修等基本方針」は 市民の要望に答えているか

### 1. 経過

市民の要望が強かった市民センター（図書館・公民館）の拡充について、2013年頃から市民団体（公民館・図書館再生市民プロジェクト）がその要望をまとめる活動をしていたが、市はリフォーム程度の改修のみで済ませようとした。そのため、増改築を求める署名運動を実施し、12月議会で陳情が全会一致で採択された。しかし市は方針を改めようとしなかったために市民の反発を招き、2014年6月市長による「凍結」、8月の市民説明会で謝罪し、市民センター改修について「時間をかけて市民と共に考えていく」との方針を示した。

そうした経過を踏まえ、2015年2月に「市民センターを考える市民の会」（市民の会）が市民協働（市と協定）で発足し、2016年4月に「狛江市民センター



増改築に関する市民提案書」(以下、市民提案書)を提出した。市はそれを尊重することとなった。9月にその提案書に基づく調査を(株)日建設計コンストラクション・マネジメント(以下NCM)に依頼した。ところが、市は翌年3月になって「必要面積を縮小するため」の追加依頼をした。調査結果は2017年5月末に市に報告されたが、市は積極的に広報しなかった。

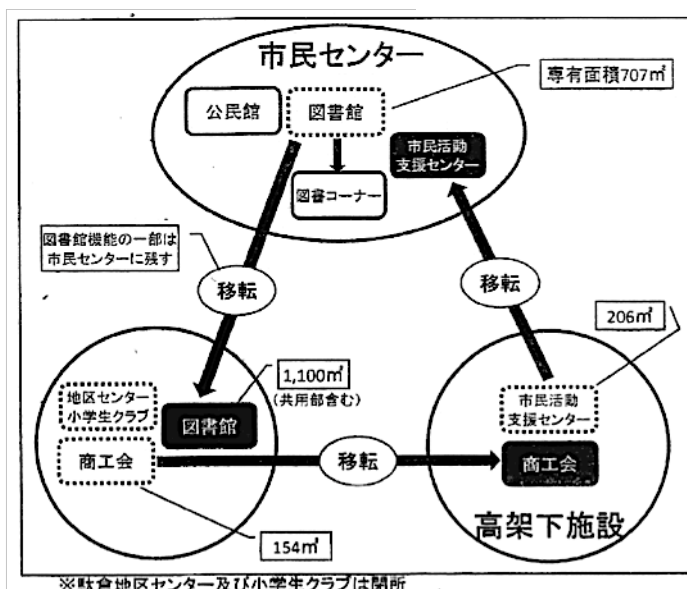
他方、「市民の会」(市との協定はなし)も独自の木造縦増築案を提案していた。今年に入った2月、市は思い立ったように市民アンケート(対象2,500人、回収837通。結果5月)を採り、5月に集約、6月18日に庁議決定、8月21日議会説明、9月に市民説明会と一気に進めた。この間、市民アンケートの質問項目に市の調査結果による建設方法5ケースと併せて市民の会案も含めるなど、2月までは「市民の会」と話し合っていたが、その後、方針決定に至るまで市の独走であった。

## 2. 「市民センター改修等基本方針」(以下、「基本方針」)について

「基本方針」は、図(市の説明資料)に示すように①現市民センター内の中央図書館は、現駄倉地区センター・商工会議所を解体、そこに新図書館として移転 ②商工会議所は現高架下にある市民活動支援センターに移転 ③現市民センターは改修し、図書館機能を縮小して残し、活動支援センターを移設する ④駄倉地区センターと小学生クラブは閉所 というものだ。(図参照)

この結果の床面積の推定値を表に示す。

市の説明会資料より



| 市の基本方針（床面積について）               |                           |                              |                                                 |                                                 |
|-------------------------------|---------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
|                               |                           |                              | 単位：平方メートル                                       |                                                 |
|                               | 現 状                       | 市民提案書                        | 市の方針案                                           |                                                 |
|                               |                           |                              | 推定値                                             | 推定の根拠                                           |
| 中央図書館                         | 707                       | 2,612                        | 820                                             | 市の説明による。改築面積1,100だが、機械・電機、階段・E L・トイレなど共用部分を除いた。 |
| 中央公民館<br>（市民センター）<br>駄倉地区センター | 1,591<br>（3,692）<br>駄倉100 | 2,205<br>（約6,400 中央図書館も同じ建屋） | 約1,780<br>（注）<br>（3,692）                        | 図書館分室（書庫含）400、活動支援センター120、共用部1,394 以上をを除く面積     |
| 現状の床面積：市の数値を記載。               |                           |                              | 注：現図書館分707㎡を公民館、図書館、活動支援センターでどう分けるか未定であり、これは一試案 |                                                 |

### 3. 「基本方針」の問題点

#### （１）市民の要望が反映されず、使い難い中央図書館となる可能性がある

① 新しく建設される中央図書館は駄倉地区になる。実質図書館として利用できる床面積は現状よりわずかに100m<sup>2</sup>程度増えるだけである。市民アンケートを見ても図書館に対する要望は強く、開架図書スペースの大幅な増大など滞在型の図書館が望まれているが、ほぼ改善されない。そのため、市民センターに残す図書機能は「図書コーナー」ではなく、中央図書館機能、例えば閉架書庫、資料調査室、事務室、開架図書の一部を残す可能性もある。中央図書館の分離である。その場合を想像して欲しい。新図書館は車いすが通れるほどに広げた場合は、現状より蔵書は少なく、予約しなければ入手できない、すぐ入手したければ二つの「中央」図書館で本を探しに行ったり来たりと様々な不都合と無駄が生じる。事務室が片側であっても両方に有っても、職員の負担は大きい。その上、新図書館は3階建てになり、駐車場2台（1台は業務用）で駐輪場も狭く、庭はない。しかも、市によれば60年間使用するそうだ。新しい図書館を歓迎する市民は果たしているだろうか？

② 公民館はどうなるのだろうか。図書館機能が残されるだけではない。突然に降って湧いたような市民活動支援センターの移設である。また、駄倉地区センターが廃止されるために、2室（ホールと和室）100m<sup>2</sup>を中央公民館に移設する必要がある。この結果は、中央公民館の床面積も表に示すようにわずかしかならず（推定で100から高々200m<sup>2</sup>）、市民提案書で目玉の一つとしていた、喫茶を含むコミュニティ・スペースも、青年向けのスペースを採用することも、今現在困っている部屋数を増やすことも何か一つが精いっぱいである。市民提

案書で謳う、「いつでも、誰でも、一人でも」来られる「憩いの場」には程遠い。

なお、支援センターは首長部局であり、社会教育施設としての公民館（教育委員会）とは目的も異なる。一緒の施設に入れる合理的理由がないために利便性を理由に挙げているが、関係団体の事前の意見聴取もなく、「基本方針」が決められている。市民説明会で市は首長部局へ変える意向も、運営を民間委託することも否定しているが、今後とも注視する必要がある。（公民館は社会教育法に定められた「社会教育」＝学習や文化活動支援の教育施設）

## （２）市民協働を踏みにじり、市民の意見を無視する強硬姿勢

① 2016年の市民提案書の提出から４年、市の説明会は一度も開かれず、市民参加の基本である情報提供も不十分で、市民センターの改修計画について市民には明らかにされてこなかった。具体的な市民への働きかけは前述したように今年に入ってからである。

② 「基本方針」は「市民提案書」を尊重していない。それだけでなく、市民アンケートも尊重されていない。アンケートでは「中央公民館をさらに充実させて欲しい」は45.6%に対して「現状のままで良い」は17.8%、「中央図書館をさらに充実させて欲しい」が66.5%に対して「現状のままで良い」は10.2%と、圧倒的に充実を望んでいる。そのための建屋としては「市民提案書」の床面積を満足する建設方法に約５割が賛成している。市民説明会でも「基本方針」は支持されず、期待する声は無かった。にもかかわらず、市は「基本方針は決定されたもの」として固執している。

９月に「狛江の図書館を友とする市民の会」から「新図書館構想は棚上げし、再検討」を、「再生市民プロジェクト」有志から「基本方針を撤回し、市民提案書を尊重して再検討」をとのそれぞれ要望書が出されたが、10月、市長は事実上の拒否回答をした。

③ 「基本方針」の作成に当たっても、市民の意見や公民館・図書館の当事者・関係者の意見を聞くことなく決めている。「市民提案書」を提出依頼、その実現のために活動している「市民の会」とは市民アンケートの内容を決めるまでは、曲がりなりにも意見を聞いていたが、その後は話し合いもなく市が一方的に決めた。しかも、「市民の会」が反対を表明していた建設方法の類似案（市が追加依頼して答申された案の一つ）であった。

## 4. 運動の在り方について

### (1) 「基本方針」の撤回がすべての始まり

市民が改善されたと賛成できるような「基本方針」ではない。

市の理由は「財政負担の抑制」が理由である。予算額は駄倉地区の新図書館建設に 5.5 億円、市民センター改修工事に 11.2 億円で、併せて約 17 億円である。新築した場合はNCMの調査によれば 39 億円、市民の会提案の縦増築は約 20 億円（調査費として 500 万円必要）。市は「市民の会」案は頑として受け入れない。この予算をどう確保するのかは、市民センターの位置づけで決まる。狛江市の誇るべき文化の中心として、今後を見据えた市民の憩いの場、学びの場、交流の場として、いま市民センターを考えるなら、市は活気づき、健康寿命も伸び、新築は決して無駄な投資にはならない。市は 20 年後の市役所の建替え時に「一体的に建替え」と説明しているが、市役所の建替えは本来市民センターとは独立した問題である。予算の効率としても市民の要望が強まっているこの時期こそ、大胆な予算措置を検討するべきではないだろうか。

少なくとも、その予算確保の努力、どのようにすれば確保できるのかその検討の跡すら見られない。その努力があれば予算確保が困難な場合でも、長期的な展望とそれに向けた中期的な方針が検討できるのではないだろうか。

新築の予算確保が困難な場合でも「基本方針」が全てではない。例えば、市民センターの改修は待ったなしであることを考慮して、長・中期的な方針に基づいて現市民センターの縦・横増築は有力な案になる。分離案と異なり、増やした床面積はそのまま生かせるためである。

20 年という期間は戦中生まれ、戦後生まれの団塊世代が高齢者として活動する貴重な期間である。人数も多く、その力を市の活性化に役立てない愚策はない。

こうした議論が不足しているのである。市はかたくなに「基本方針」に固執することなく市民の声を謙虚に聞き、市民センター増改築の枠組みを検討しなおすことである。それが市民にそっぽを向かれない唯一の方法である。

### (2) 市民協働は市民の意見を尊重し、市民の決定権を含めてこそ価値が生まれる

意見は聞きました、あとは市の判断で決定させていただきます、では市民協働ではない。「市民参加と市民協働の基本条例」の第 5 条では「市民の公共の用に供される大規模な施設の設置に関わる…基本計画等の策定」は「あらかじめ

め市民参加の手続きを行わなければならない」とされている。アンケートを採れば済むというものではない。「基本条例」の付則には基本的な精神として、この条例は「市民と自治体が信頼に基づく」ことから生まれ、「市民公益…団体と行政組織が対等な立場で町の発展のために取り組むことが求め」られている。決定を押し付ける市民説明会で済ませることはできない。「基本方針」の市民参加（協働）による再考こそが今、必要である。その際、繰り返しになるが財政に関しても基本は市民提案書・市民要望を取り入れる立場で財源確保を検討することが大切である。今回提案のように、「財政」が優先されて、「ありませんからこの範囲でしかできません」という話ではない。市民参加（協働）というなら、この財政問題もオープンにして議論すべきで、「基本条例」でも情報提供が定められている。

市民センター（図書館・公民館）は市民が直接利用する施設である。それだけに市民の要求・声が施策に反映されなければ、誰もその行為に確信を持つことはない。自分たちが創った市民センターでこそ、市民の愛着は湧く。

市民センターは市民協働が最も必要な施設のの一つである。

和泉本町 西尾真人

## <参考>

市民提案書はこちらの頁でご覧になれます。

<https://komae-shimin.tokyo/accueil/proposal.pdf>



市民センターを考える市民の会のチラシ  
(2020.2.23)

# みんなの声で創ろう！市民センター

市役所と同じ敷地内にある市民センター（中央公民館・中央図書館）は、第43年を経過して老朽化が進み、使いにくさやスペースの狭さが問題となっています。2013年に市から改修案が提示されましたが、「増床を視野に入れた改修」を求める市民の声が高まり、「市民センターを考える市民の会」が発足して市と協定を結び、市民センターの増改修に関する「市民提案書」をまとめました。市は、この「提案書」を尊重するとともに、より幅広い市民の意見も聞きながら、新しい改修計画を策定するとしています。市民センターは文化や学びの場として、市民の多様な活動や学習の中心的な存在の公民施設です。市民の知恵を集めて、永く使える使い勝手のよい市民センターを創りましょう。

いつでも、誰でも、ひとりでても～市目が育ちあう学び・憩い・交流の場～  
こんな市民センター（公民館・図書館）が欲しいな！「市民提案書」より

**人がつながる 公民館**  
部屋数増、青少年の居場所づくり

みんなが使えて、交流が深まるように部屋数、配置、設備を工夫

一人ですっきり、みんなでワイワイそれぞれの学習室  
ホールで、講演会、発表会、音楽会

障がいのある人もない人も使いやすい施設・設備

太陽光や地下水を有効利用  
自然にも人に優しいエコな施設

**暮らしを豊かにする図書館**  
ゆったり明るく、利用しやすい

ゆったりとしたスペースのある滞在型図書館  
資料整理、ワクワクする本と出会う場に  
車椅子やベビーカーでも家々の広い通路と書庫

雑誌と利用者が気軽に相談できるオープン事務コーナー

**コミュニティ・スペースの新設**  
すべての市民に開かれた憩いの場

カフェ・コーナー  
ミニコンサート  
活動発表の展示スペース  
情報コーナー  
乳幼児を遊ばせる量コーナー  
活動の後にほっと一息

「市民提案書」では新市民センターの床面積を現在の約1.7倍にすることを提案しています。

市民の会ではみなさんの声を実現するために木造増築案を提案しています。裏面をご覧ください。

発行：市民センターを考える市民の会 代表 立川節子 080-5403-4168



「豊かな狛江」第 235 号（2020 年 2 月号）で共同代表・増田善信さんが「狛江市に『気候非常事態宣言』をさせる運動を立ち上げませんか」と呼びかけ、「狛江市議会の『狛江市気候非常事態宣言』を超党派で採択させる会」を立ち上げました。そして、多くの賛同を得て狛江市議会第 3 回定例会（9～10 月）に「狛江市気候非常事態宣言」採択を陳情しましたが、否決されました。その経過を 2 回に分けて掲載します。

# 10 月 8 日の狛江市議会本会議で 陳情書「狛江市気候非常事態宣言」は 否決された

増田 善信

## はじめに

市民の皆さんの賛同者数は、最終的には市議会へ提出した 497 名に、提出後の 3 名を加えて、ちょうど 500 名に達した。議会事務局の話では、短期間にこれだけ多数の賛同者を集めた陳情は、最近では経験がないということであった。

このような多数の賛同を無視して、狛江市議会自民党・明政クラブ、公明党、与党無会派議員は、10 月 8 日の狛江市議会本会議で、私たちの「気候非常事態宣言の採択を求める陳情」を否決したのである。「宣言案」の作成から、その変遷、9 月 17 日の狛江市議会建設環境常任委員会での発言、そして本会議での否決の経過を報告する。

## 陳情の「宣言案」の最終案はどのようにしてつくられたか

この陳情は、全市を挙げて取り組むべき重要な「宣言」であるから、市議会の「全会一致」の採択を願って、5 月中旬から市議会全会派・無会派の議員に私たちで作った原案をもとに要請することから運動を始めた。コロナ禍のため多くの人が集って意思統一する機会を持つことが困難な中での運動であった。

私たち市民がつくった原案の中には後々まで問題になった原発問題が「4. 原発はいったん事故が起こると深刻な放射能汚染をもたらす危険があるので、これは採用しない」という文案で入っていた。まず、共産党、立憲民主党、生活者ネ

ネットワークの議員と無会派の平井議員との話し合いを行った。そこでは、「原発問題を入れると与党の議員の賛同を得るのは難しいのでは」と危惧する意見が出たが、原案通りで与党に働きかけることで合意した。

公明党との話し合いは8月1日13時からで、佐々木幹事長と山田議員の2人と、私たち3人が参加した。まず私たちが陳情書と「宣言（案）」の全文を読み、説明をしようとしたが、佐々木議員が「わかった。これを検討してくれという意味だね」といって席を立ったので、内容は全く説明できなかった。しかし、佐々木議員が退席直前に『「超党派」という言葉はそぐわないよ。こういう場合は『全会一致』だ』といわれたので、その理由を聞き、ごもっともだと思い、「超党派で採択させる会」の名前は変えられないが、陳述書はそれ以後、「全会一致」を用いてきた。

自民党・明政クラブとの話し合いは、谷田部幹事長の配慮で、与党無会派の吉野・三宅両議員も一緒に、8月6日9時から行われた。私たちは4名で、まず全文を読んだ後、私が公明党との話し合いの結果と、宣言（案）の概略を説明し、この宣言（案）には、「原発問題」が入っていることを付け加えた。

三宅議員の発言は声が小さくてよく聞き取れなかった。三宅議員は10月8日の本会議での反対討論の中で、「原発が入っていることと、『非常事態という言葉が大げさすぎる』という2点を発言した」と言ったが、私たちは「宣言を出すこと自体に反対を表明された」と理解していた。三宅議員はこの発言後、早めに退席した。

篠議員と三角議員は『「非常事態宣言」は大げさすぎる、名称を変えられないか』と述べた。私たちは国際的に決まっているから「名称を変えるのは難しい」と説明した。辻村議員は「気候変動の宣言に原発を入れた理由」を質問した。私たちは「原発は二酸化炭素を出さない発電方式といわれ、I P C C (2013)の第1部会でも「抑制的に使用」としている。しかし、福島第1原発の事故を見れば、その被害は深刻であるので、このような表現にしたと釈明したうえ、「辻村議員の指摘のとおり、『気候非常事態宣言』に入れる理由付けが曖昧であるので、その趣旨を入れて修正する」ことを約束した。話し合いの会は約1時間で終わった。

私たちはこの指摘の意見を入れ、さらに昨年10月に執行された総選挙の時の自民党・公明党の原発政策も考慮して、原発の項目を、「4、原子力発電は、ほとんど二酸化炭素を出さないの、温暖化防止に役立つという意見もあるが、いったん事故が起こると深刻な放射能汚染をもたらす危険があるので、漸減させ、最終的に廃止する」と修正し、Faxで自民党・明政クラブと公明党、および与党系無会派の議員全員に送った。すると、谷田部議員から「原発が入ると難しい」

という意向が伝えられたので、「全会一致」を優先し、8月17日、「原発問題」を全面的に削除することを決断し、Faxで「原発」の項を削除した案文を送り、この案でまとめて欲しいと頼んだ。

8月17日、私のほうからの電話で三宅議員の意向を尋ねると、「反対だ」というだけで、「理由は」と質問すると、「反対だ」と言って電話を切られた。公明党の佐々木議員は「多摩市の宣言以外は受けられない」という回答であった。私は「多摩市の宣言の引き写しではなく、狛江の状況に合った宣言にしたい」と述べると、佐々木議員は「多摩市の宣言以外にない」といって話を打ち切った。無党派の吉野議員も「多摩市の宣言以外にない」という公明党とまったく同じ回答であった。私は多摩市の宣言は3つの項目だが、温暖化問題は1項目目で、2項目はプラスチックごみの問題であり、3項目目は生物多様性の問題で、いずれも重要な問題であるが、気候変動の危機宣言にはふさわしくないと思う」というと、吉野議員は「多摩市の宣言以外にない」と述べ、回答は変えなかった。

自民党・明政クラブの谷田部議員からは、陳情書提出日の8月20日早朝7時40分ごろ、「前夜遅くまでかかったので、早朝の電話で申し訳ない」と断わったうえ、「今回は陳情を見合せたら」という回答であった。「どこが問題か」と聞いても、具体的な回答はなく、多摩市のことにも言及したが、「世界的にみると、中国やインドは別として、アメリカ、日本、西ヨーロッパの国々は企業も含めて、一生懸命努力している。そこえ「非常事態」といって宣言を出すのはどうも」ということであった。

私たちも一度は陳情提出の「見送り」を考えたが、ここまで自民党・明政クラブ、公明党などの意見も入れて案文を修正し「原発」も削除したことで、宣言案に反対する明確な理由も聞かれない。その中で「今回は陳情を見合わせ」たからといって、先行き「全会一致」も望めないことから、ここは「世論の力を借りる以外にない」と考え、8月20日午後4時、狛江市議会事務局に、自民党・明政クラブや公明党などに提示した最終案と同文の、陳情書と「宣言案」(次頁)を賛同者80名の名簿を添えて提出した。

そもそも「陳情書」は私たちが提出するものであって、その内容で「宣言案」が左右されるものでないが、私たちは、自民党・明政クラブや公明党など与党議員との話し合いの場では、必ず、陳情書と「宣言案」の全文を読んで意見も聞いていた。その中で陳情書は「超党派」を「全会一致」に変えるなど私たちが納得できることは変更した。一方、「宣言案」は、自民党・明政クラブや公明党など与党議員の意見を入れてつくったものであった。従って、この「宣言案」は「全会一致」でなくても採択されると思ったのは当然であろう。(以下、次号に続く)

## 参考：「狛江市気候非常事態宣言」案

2016 年、日本を含む 175 の国と地域は、気候変動の脅威と、それに対処する緊急の必要性を認識し、温暖化に対して「産業革命前からの気温上昇を 2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求する」ことを目標にした「パリ協定」に署名しました。

2017 年、産業革命前からの世界の気温上昇はついに 1℃に達し、世界各地で熱波、山火事、洪水、海面上昇、干ばつなど極端な気象現象が激増しています。わが国でも、猛暑、台風、集中豪雨、洪水などの気象災害が毎年のように頻発し、私たちが住む狛江市でも、2019 年 10 月、台風 19 号の豪雨により、床上浸水の被害が起こるまでになりました。

まさに、今、人類が生き残れるかどうかの気候危機に直面しています。それにもかかわらず、温室効果ガス排出量は増加の一途をたどり、2018 年の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量は過去最高の約 331 億トンに達したと国際エネルギー機関（IEA）が報告しています。今こそ、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）「1.5℃特別報告書」の指摘に基づいて、一日も早く脱炭素社会を実現させなければなりません。

よって、狛江市と狛江市議会は、この動きに呼応し、下記の事項を誠実に実施し、地球温暖化の防止に資するために、「狛江市気候非常事態」を宣言します。

1. 迫りくる「気候危機」の実態を市民に周知する。
2. 遅くとも 2050 年までに温室効果ガス排出の実質ゼロを達成するため「行動計画」を市民協働で策定し、あらゆる努力を行う。
3. 徹底した省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの最大限の活用を目指して、狛江らしい自然エネルギーの都市をつくれます。
4. 東京都や他市などと協力して、国に脱炭素社会の早急な実現を要求する。

## 本紙へ寄稿・投稿をお願いします。

- 本紙では読者の皆さんの声を積極的に掲載していきたいと考えています。
- 皆さんの思いや提案を自由にお書きください。
- 前月の 15 日頃が締め切りとなります。

# 11月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。

※編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。

※本紙に折り込んでほしいビラなどがありましたら、360部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください！

| 日 時                                | 会場など                   | 内 容                                           | 問い合わせ先など                                                     |
|------------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 3日（火・祝）<br>11時30分～<br>12時20分       | 狛江駅前                   | 《平和憲法を広める狛江連絡会》などが「アベ政治を許さない」サイレント・スタンディングです。 | 安倍を引き継ぐ菅政権の暴走政治にストップを！可能な方はぜひ！おいでください。<br>天候などにより中止の場合もあります。 |
| 3日（火・祝）<br>13時30分開会<br>12時20分狛江駅集合 | 国会正門前付近                | 平和といのちと人権を！11・3大行動<br>憲法が生きるコロナ後の社会（P6参照）     | 主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会<br>戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会            |
| 7日（土）<br>14時～16時                   | 東京土建<br>狛江支部<br>会館・会議室 | こまえ社保協第8回総会<br>（P7参照）                         | 増田善信さんの講演はどなたでもお聞きになれます。                                     |
| 9日（月）<br>17時30分～<br>18時30分         | 狛江駅前                   | 「九の日行動」＝駅前署名・宣伝行動です。賑やかにやりましょう。               | 改憲発議に反対する全国緊急署名を引き続き行います。雨天の場合は29日15時からに延期。                  |
| 10日（火）<br>10時00分～<br>11時頃          | みんなの<br>広場<br>ホール      | 会報編集チーム                                       | 面白い会報作りのために、新メンバー大募集中！                                       |

|                             |                       |                                            |                             |
|-----------------------------|-----------------------|--------------------------------------------|-----------------------------|
| 18日(水)<br>14時00分～<br>16時頃   | 東京土建狛<br>江支部会館<br>会議室 | こまえ社保協(社<br>会保障推進協議<br>会)事務局・役員会           | 各加盟団体の皆さんは、<br>ぜひともご出席ください。 |
| 19日(木)<br>13時30分～<br>15時30分 | 中央公民<br>館・第2会<br>議室   | 《平和憲法を広め<br>る狛江連絡会》《こ<br>まえ九条の会》<br>合同世話人会 | 新しい方の参加大歓迎で<br>す。           |
| 23日(月・祝)<br>14時00分～<br>16時頃 | みんなの<br>広場<br>ホール     | <b>豊かな会の<br/>定例拡大世<br/>話人会</b>             | 世話人以外の方もぜひお<br>いでください。      |
| 24日(火)<br>9時30分～<br>11時頃    | みんなの<br>広場<br>ホール     | 豊かな会会報『豊<br>かな狛江』12月号<br>の製本・仕分け作<br>業です。  | ぜひ！お手伝いにおい<br>でください。        |

## 11月の拡大世話人は23日です

《豊かな会》活動の基軸は、毎月第4月曜日に開催している定例世話人会となります。世話人各位の参加を切望します。

また、拡大版でやっていますので、世話人以外の会員の方もお気軽においでいただき、ご意見・ご提言をお願いいたします。

### ■11月23日(月)午後2時開会

遅くとも4時までには終わります。

### ■みんなの広場・ホール

会報『豊かな狛江』の製本・仕分け作業をお手伝いください！

毎月の最終火曜日に作業をしています。ぜひお手伝いをお願いします。

\*\*\* \*\*

## 投稿 映画「オフィシャル・シークレット」を観て

柳 正男(東野川在住)

私はかねがね気にかけていたことが映画になり見に行きました。イラク戦争を取り上げた「オフィシャル・シークレット」、イギリスが実話をもとに作った映



画です。

イギリスの「国家秘密情報機関」で働く女性がアメリカからのトプシークレットを悩んだあげく外部に漏らす。その女性の働く職場全員取り調べられる。いたたまれなく自分がやったと自供します。この職場で働く時の契約は「情報は外に出さない」、それを盾に国は裁判で有罪にしようとする。一方彼女を守ろうとする人々は、彼女の行った行動は勇気のある正しい行動だと弁ずる。形だけの裁判になる。ところが国は控訴しないことに決める。彼女は無罪で釈放される。この映画は彼女の勇気をたたえた映画と感じると同時に、イギリスは大人の国だとも感じる。

彼女はこのイラク戦争はアメリカ大統領ジョージ・W・ブッシュが嘘と脅して始めた戦争と見抜く。米国の主張は「大量殺人兵器」をイラク、フセイン大統領が保有している、「9・11」の報復も兼ねてこの戦争を正当化しようとした。ブッシュ大統領や米国国務長官の話も画面に出てくる。米国は必死に「大量殺人兵器」を探したが見つからなかった。それでもこの戦争を続け、フセインを逮捕し、形だけの裁判を市処刑した。

私はブッシュ氏が大統領に再選されないことを強く願った。再選された。なぜか調べてみたら、ワシントン、ボストン、ニューヨーク、サンフランシスコ州などは民主党の大統領候補に投票している。中部、南部の州はブッシュ共和党に投票した。

ブッシュ大統領と仲の良かった（多分、いいなりだと思う）小泉総理大臣は憲法の精神を逸脱して、米国の後方支援の役目を自衛隊に命令する。イギリスの女性が嘘と脅して始めた戦争を見抜いているのに、わが国の小泉総理が取った行動はあまりにもレベルが低すぎて…。

閣僚がイラクを視察した時、大きな爆撃音がした。いの一番に逃げたのは閣僚だったという笑い話がある。米国の後方支援と言っても、米軍に近づくと発砲してくる。日の丸の旗だけでは通用しない、日本とはっきり確認するまでは。後方支援といえども戦争は殺す、殺されるの世界、言葉だけでは真実はわからない。自衛隊員が帰国後 20 名くらいの方が自殺している。

そのような激しい現場に踏み込み正確な情報を伝えようとした「安田純平」さん。解放され帰国した時の日本人の態度。フランスでは大統領が直々に飛行場まで出迎え、彼らの勇気を讃え、感謝の言葉を述べている。

日本人はどこまでアホになったのか…。

今の日本を見ればわかるけど！

